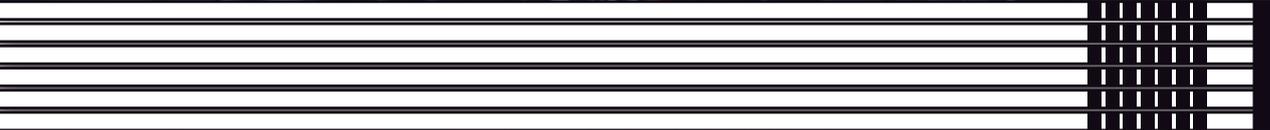




特別号
2023. 春



仙台消防階子乗り広報紙 はしご
三十周年記念式典



仙台消防階子乗り保存会三十周年



三十年の感謝

仙台消防階子乗り保存会 会長

藤崎 三郎助

仙台消防階子乗り保存会発足から30年を迎えることができました。保存会会員の皆様には、長きにわたりご支援を賜り心から感謝を申し上げますとともに、階子乗り隊の皆様におかれましても、仙台消防階子乗りの技と伝統が連綿と受け継がれていることに心より感謝申し上げます。

振り返りますと、仙台消防階子乗り保存会は仙台市制100周年と自治体消防発足40周年にあたる昭和64年の消防出初式で仙台消防階子乗り隊が復活を遂げたことを契機に、消防の華である階子乗りの技と伝統文化を末永く後世に伝えていこうという機運の高まりを受け、市内の多くの事業所等の方々の賛同を得て、平成2年7月に発足いたしました。以来、階子乗り隊の支援を続け、現在では事業所と個人あわせて61会員の皆様のご協力により活動を行っております。

令和2年には保存会発足から30年を迎え、これを祝う記念式典を予定しておりましたが、度重なる新型コロナウイルスの流行により延期を余儀なくされておりました。この間、平成29年には、仙台消防階子乗りが仙台市指定「無形民俗文化財」に指定されるなど、これらから階子乗り隊を一層盛り上げて

こうとする矢先のことであり、保存会としても肩を落とすような気持ちでおりました。

このような経緯はございましたが、晴れて令和4年11月に歴史ある仙台城跡にて、二年越しとなる30周年記念式典を盛大に執り行うことができました。当日は天候にも恵まれ、秋空が高く澄み渡る中、七隊の階子が仙台の街並みを背に立ち連なり、その頂上で繰り広げる階子乗りの妙技はまさに圧巻と言いうにふさわしく、来場された市民の皆様からも技が決まるたびに大きな歓声と拍手が沸き起こりました。仙台消防階子乗り隊を支える私たちにとりましても、発足から30年という節目を迎え、微力ながらも仙台消防階子乗りの伝承と仙台の文化振興への貢献できていることを誇らしく思う感慨深い日となりました。

これからも会員が力を合わせ、仙台消防階子乗りが仙台消防の伝統と心意気を伝える貴重な財産として市内外に広く親しまれる存在となるよう支援し、先人達からの歴史ある文化を末永く伝承してまいりたいと考えております。そのためにも、大切な皆様からの引き続いてのお力添えを改めてお願い申し上げます。挨拶といたします。



長年のご支援に感謝を込めて

仙台消防階子乗り保存会 名誉会長

郡 和子

仙台消防階子乗り保存会が30年の節目を迎えるにあたり、お祝い申し上げます。

藤崎会長をはじめとする保存会の皆様方には、長きにわたり階子乗り隊を支えていただいていることに心より御礼申し上げます。

また、階子乗り隊の皆様には、自らの生業や消防団員としての活動がある中で、仙台消防階子乗りの伝統と技の継承に尽力されていることに深く敬意を表します。

さて、仙台市は、藩制時代からの歴史と文化を継承しながら、東北の中枢都市として成長してまいりました。その中で、仙台消防階子乗りは、明治17年の消防出初式で行われたとする公式の記録がありますが、市井における活動の歴史は、さらに長いものであったと思います。

平成29年には、本市の無形民俗文化財に指定され、現在も消防出初式をはじめ、仙台・青葉まつりなどにおいて、その華麗で粋な技を披露し、多くの市民の皆様に関心されております。

先達から脈々と受け継いできた階子乗りの伝統を、物心両面にわたり支えられてきた保存会や階子乗り隊の皆様方の活動は、本市の魅力向上、街のにぎわい創出などにも大いに貢献いただいているところであり、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響にあっても、途切れることなく活動いただきました。

これから感染症の収束と地域経済が活性化へ向かおうとするなかで、消防団の活動を含め階子乗り隊の活動がより活発になり、その価値を更に高められていくことを心より期待しております。

保存会の皆様方におかれましては、今後とも、仙台消防階子乗りが市民の方々に愛され、親しまれますようお願いいたします。

結びに、仙台消防階子乗り保存会の益々のご発展と、仙台消防階子乗り関係者の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

三十周年 式典



会長挨拶



感謝状授与



市議会議長祝辞



副市長挨拶



記念品

令和4年11月19日（土）、仙台城跡にて仙台消防階子乗り保存会三十周年記念式典を執り行いました。式典では、藤崎会長から長年にわたり仙台消防階子乗りの伝統と技の継承にご尽力いただいている保存会会員と階子乗り隊員の代表者へ感謝状を贈呈いたしました。

その後、宮城県護國神社に場所を移し、保存会関係者、階子乗り隊員の総勢300名が活動の安全を祈願しました。

三十周年 安全祈願



修祓



斎主一拝



浦安の舞



祝詞奏上



玉串奉奠



仙台消防階子乗り保存会

十周年記念式典 (江陽グランドホテル)



会長挨拶



演技披露



二十周年記念式典 (ホテルメトロポリタン仙台)



会長挨拶



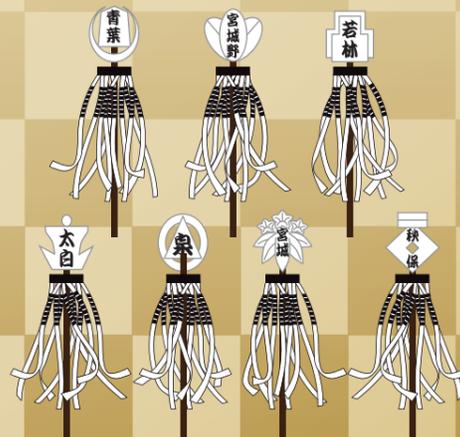
絵画「伊達の階子乗り」(寄贈:千葉勇作氏)



法被披露

年号	西暦	月	出来事
令和4	2022	11	仙台消防階子乗り保存会三十周年記念式典
令和2	2010	7	仙台消防階子乗り保存会三十周年記念式典延期
平成29	2017	7	仙台市指定無形民俗文化財に指定
平成22	2010	11	仙台消防階子乗り保存会二十周年記念式典
平成12	2000	11	仙台消防階子乗り保存会十周年記念式典
平成2	1990	7	仙台消防階子乗り保存会発足

仙台消防階子乗り保存会
年表



周年披露演技



青葉



宮城野



太白



宮城



演技披露は仙名城跡北側広場にて、秋晴れの空の下7つの階子乗り隊が
一斉に階子を立て仙台の街を眼下に行いました。
勇壮で華麗な演技は仙名城跡を訪れていた方々を魅了し、階子乗り隊の
技が決まる度に拍手や歓声をあげられておりました。



若林



泉



秋保

周年祝賀会



仙台消防階子乗り保存会三十周年の節目を迎えて



30年の節目を迎えて

仙台消防階子乗り保存会 参与
今野 信一

仙台消防階子乗り保存会が発足から30年の節目を迎えて、階子乗り人生を振り返りますと、私自身にも所属していた泉消防階子乗り隊にとっても「30年」は意味のある数字です。

昭和の泉市当時、泉市消防団には階子乗り隊はありませんでした。平成に入り泉市が仙台市と合併することを機に、泉消防団にも階子乗り隊発足の機運が高まり、隊員を募ったり、技術習得などの準備期間を経て、仙台消防階子乗り保存会発足と同年の平成二年に泉消防階子乗り隊が誕生し、令和二年で30年という節目を迎えました。

発足当初は、少ない人数ではありましたが、技術習得のため宮城野消防団階子乗り隊の練習へ参加するなどしており、乗り手は保存会初代参与の佐々木芳一先生、支え手は二代目参与の佐藤昭十郎先生から厳しくご指導をいただいたことを今でも鮮明に覚えています。

私は当時、消防団に入団して10年にも満たない団員で、階子乗りのことは良く解っていませんでしたが、両先生の指導を受けるにつれ階子乗りにより培われる団結心や伝承に対する熱い「思い」を強く感じるようになりました。そして、その「思い」を一日でも早く自分のものにするため懸命に練習を重ね、また、泉消防団の伝統となるよう、これまで皆で力を合わせて繋いでまいりました。

私自身が保存会30周年を迎える年に、三代目の保存会参与を任されることになるのは夢にも思っていませんでしたが、先代方の技や技術、階子乗りへの「思い」を一人でも多くの後継に繋いでいくという使命感を持って、任に当たらせて頂いております。

伝承は一朝一夕で伝わるものではなく、伝える側と伝えられる側の成長の過程でより熟成して伝わっていくものと思っています。若き日に先達から受け継ぎ、芽生えた「思い」を根幹として、仙台消防階子乗りの伝統を繋いでいくための礎となるべく、参与として精一杯尽力してまいりますので、仙台消防階子乗り保存会関係者の皆様には引き続きお力添えいただきますようお願い致します。



青葉消防階子乗り隊 小頭
早坂 洋

青葉消防団に入団して約30年、階子乗り隊として楽しく活動してきました。青葉区民まつりに初めて支え手として参加した時は、ものすごく緊張したこと、また、緊張の中でも「市民広場で乗り手の演技を支えた」ということに感動したことを今でも鮮明に覚えています。

支え手は乗り手が演技を披露している間、安全管理の観点から下を向いて階子を支えなければなりません。私は長い間支え手をやってきましたので、乗り手の演技を見ることが出来たのは小頭になってからです。

乗り手の演技は観客を盛り上げますが、支え手の役割は地味なものです。しかし、支え手が一致団結して階子を支え、安定させることによって、乗り手が安全に演技することが出来るのだと思っています。

伝統階子乗りの文化を決して絶やすことのないよう、これからの階子乗りを担う若い世代へ技術や技、伝統、そして心意気を伝えていきたいと思っています。



宮城野消防階子乗り隊 小頭
遠藤 昌隆

子どもの頃、父親と一緒に行った消防出初式。目を奪われた階子乗りの華麗なる技の数々、まさか大人になって自分が演技するとは夢にも思いませんでした。練習を積み、技をひとつずつ自分のものにしても、実際に余裕のある演技ができるまで10年もかかったでしょう。他隊乗り手と合同の練習に参加したことや、東京での練習を懐かしく思います。私は、20年乗り手をした後、纏持ちに転向しました。纏を「見る」と「振る」では勝手が違いましたので、江戸消防記念会の方々に指導していただいたこともありです。

これからは小頭として、安全管理は自己の責務と認識し、乗り手、支え手にとって何が安全でどうすれば演技しやすいかを考えながら、これまでの経験を生かして、現場で指揮・指導に当たっていききたいと思います。

そして、階子乗り保存会30周年を迎え、100年を越える伝統階子乗りを、次の世代にしっかりと継承していきま



若林消防階子乗り隊 小頭
高橋 一也

若林消防階子乗り隊は、平成3年から活動しております。仙台市内7つの階子乗り隊の中でも珍しく六郷分団のみで隊員編成されており、気心の知れた同じ分団員のみで編成されているため、とても団結が強くとまった隊であると感じています。

私は、平成7年に入隊し約15年間乗り手として活動しておりました。現役の頃は、とにかく練習あるのみで、階子に乗れば自分の身を守るものは自分の手足だけと自分に言い聞かせ、手の持ち方、足のかけ方、体の重心の位置、移動の所作などを先輩から幾度なく教わりました。その中でも、皆で支え合って演技をする、つまり団結力が階子乗りだということ強く教わったことが心に深く刻まれています。

現在は小頭として、その教えに習い「乗り手は支え手を信頼し、支え手は乗り手を思う。」それを基本に指導をしています。

今後も階子乗りの伝統と技を後世に伝え、仙台市の指定無形民俗文化財の名に恥じないよう活動をしていきたいと思



太白消防階子乗り隊 組頭
小川 龍男

仙台消防階子乗り保存会発足30周年記念にあたり、一言お祝い申し上げます。

令和4年4月から太白消防階子乗り隊組頭の任を受け、何度か階子乗り演技披露の現場を経験させていただきました。

これまでは新型コロナウイルスの影響により、演技披露等活動の制限を余儀なくされましたが、令和4年は5月の青葉まつり、10月の区民まつり、11月の仙台消防階子乗り保存会30周年記念式典への参加、そして年が明けて3年ぶりの消防出初式の出場と演技披露の機会に恵まれました。これまでのコロナ禍でなかなか演技披露の場がない状況であっても、伝統ある階子乗りの文化を絶やさぬよう継続して練習を重ねて来ました。

今後も仙台の階子乗り隊の基礎を築いた初代参与の佐々木芳一先生をはじめ、これまで関わってきた先輩たちから受け継いだ階子乗り隊としての心意気、そして勇壮で華麗な演技披露でコロナ禍後の世の中に元氣・勇氣・希望をお届けできるよう、隊員一同より一層技を磨き精進して参りたいと思



泉消防階子乗り隊 組頭
柴田 孝一

仙台消防階子乗り保存会結成30周年、誠にありがとうございます。

貴会におかれましては、階子乗り隊の出場や訓練、後継者の育成などに対して、多大なるご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、泉消防階子乗り隊は、現在、組頭以下27名で構成され、年明けの消防出初式をはじめ、仙台青葉まつり、泉区民ふるさとまつりなど、数多くの演技披露の機会をいただいております。訓練は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により止む無く中断する期間もありましたが、今年度は感染予防対策をとりつつ、週2回の乗り手訓練と、支え手を交えて行う全体訓練を重ねることで、技に磨きをかけております。

高齢化や人口減少の進行などにより、階子乗り隊の成り手確保は厳しい状況が続いておりますが、消防団・消防局と一体となつて消防団員の実情やニーズに即した環境整備を推進し、これまで諸先輩方が繋いでくださった技術と伝統を次の世代に伝えてまいります。



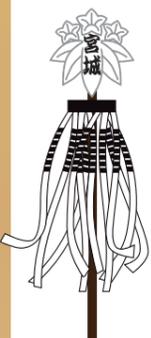
宮城消防階子乗り隊 乗り手・纏直
菅 沼 直

仙台市消防階子乗り隊は、例年消防出初式、青葉まつり、区民まつりなどの行事で勇壮で華麗な演技を披露しておりました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は大きく、仙台消防階子乗り保存会30周年式典は2年越しでの開催となりました。

その様な中でも、コロナ終息を願い、明るい未来に向けて、また仙台消防の伝統と心意気を伝える象徴として、宮城消防階子乗り隊の演技を、大勢の皆様の前で披露できるよう仕事帰りの夜間に訓練を重ねてきました。

宮城消防階子乗り隊は、現在5名の乗り手があり、一つ一つの動作と間を大切にすることを乗り手の心がまえとしていきます。

これからも引継がれてきた伝統と心と技を次世代に伝えながら、素晴らしい演技が披露できるように日々精進して参ります。



秋保消防階子乗り隊 組頭
小野寺 孝幸

私が秋保消防階子乗り隊に入隊したのは、今から26年前になります。

当時、乗り手が2名しかおらず、乗り手の増員と育成を目的として各分団から1名を選出することとなり、選出された同期5名とともに、乗り手1期生からの指導を受けました。

乗り手になり初の仙台七夕まつりでの演技で定禅寺通りの櫓の枝に足が触れ非常に怖い思いをした記憶が今でも思い出されます。

当時は出場機会が多く、出初式や仙台青葉まつりなどの恒例行事の出場に加え、Jリーグやバスケットボールの開幕戦など多くの臨時的な出場依頼があり、ずいぶん忙しく感じました。

また、安全対策を強化するため、階子の長さの統一や支え手の増強、プロテクターの装着等を規則化して現在に至っています。

今後も安全第一で階子乗り隊の運営を行うとともに、仙台消防階子乗りが40周年、50周年を無事故で迎えることができるよう、引き続き、技術の伝承にも努めて参ります。



会員の皆様のご支援に心より感謝申し上げます

仙台消防階子乗り保存会〈会員〉

1号会員

株式会社藤崎
 仙台商工会議所
 公益社団法人仙台市防災安全協会
 一般社団法人日本損害保険協会東北支部
 東北電力株式会社
 株式会社七十七銀行
 株式会社河北新報社
 仙台農業協同組合
 カメイ株式会社
 東北百貨店協会
 一般社団法人宮城県銀行協会
 仙台ターミナルビル株式会社
 仙台ビルディング協会
 仙台防火委員会
 ニッカウキスキー株式会社仙台工場
 株式会社ユアテック
 消火栓標識株式会社仙台支社
 泉消防友の会
 南東北福山通運株式会社仙台支店

1号会員

みやぎ仙台商工会
 北日本電線株式会社
 ENEOS株式会社仙台製油所
 協同組合仙台卸商センター
 みやぎ生活協同組合
 宮城消防団OB会
 青葉消防団親和会
 宮城野消防団親和会
 若林消防団親和会
 太白消防団親和会
 泉消防団親和会
 宮城消防団互助会
 秋保消防団親和会
 株式会社江陽グランドホテル
 太白消防団OB会
 サンモール一番町商店街振興組合
 株式会社OPA仙台フォーラス
 入間株式会社
 株式会社ベルモードズキ

1号会員

おおまち商店街振興組合
 ホテルモントレ株式会社ホテルモントレ仙台
 興立産業株式会社
 株式会社東京インテリア家具仙台東店
 株式会社三原本店
 株式会社阿部蒲鉾店
 株式会社白松がモナカ本舗
 株式会社タゼン
 大日本印刷株式会社情報イノベーション事業部
 JFEスチール株式会社仙台製造所
 全農エネルギー株式会社仙台石油基地
 株式会社メガネの相沢
 株式会社パルコ仙台店
 黒田酒BAR
 株式会社久保田本店
 株式会社ほまれや
 宮城サクマ株式会社

2号会員

郷湖 忠
 高橋 幸助
 井上 宏
 佐藤昭十郎
 今野 信一

1号会員

仙台市

1号会員：会則第15条第1項第1号に規定する団体会員

2号会員：会則第15条第1項第2号に規定する個人会員

(令和5年4月現在・順不同・敬称略)

*会員の皆様のご紹介につきましては、屋号または商号による紹介も対応しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集・発行

仙台消防階子乗り保存会

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号 仙台市消防局総務部総務課内
 TEL.022(234)1111 FAX.022(234)1120 E-mail:syo018010@city.sendai.jp